

みずほCustomer Desk Report 2016/08/18 号(As of 2016/08/17)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値 GBP/USD	100.69 AUD/USD
TKY 9:00AM	100.17	1.1278	113.00	0.9621	1.3032	0.7695
SYD-NY High	101.16	1.1316	113.92	0.9657	1.3087	0.7707
SYD-NY Low	100.04	1.1240	112.83	0.9598	1.2979	0.7608
NY 5:00 PM	100.28	1.1291	113.21	0.9623	1.3042	0.7653
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	10.67/11.125		△25RR	1.865	Yen Call Over	
NY DOW	18,573.94	21.92	債券市場	日本2年債	-0.1860	0.8bp
NASDAQ	5,228.66	1.55		日本10年債	-0.0700	1.5bp
S&P	2,182.22	4.07		米国2年債	0.7257	▲2.0bp
日経平均	16,745.64	149.13		米国5年債	1.1315	▲2.8bp
TOPIX	1,311.13	12.66		米国10年債	1.5491	▲2.5bp
シカゴ日経先物	16,680	105.00	為替市況	独10年債	-0.0500	▲2.0bp
ロンドンFT	6,859.15	▲34.77		英10年債	0.5630	▲2.2bp
DAX	10,537.67	▲138.98		豪10年債	1.9070	3.0bp
ハンセン指数	22,799.78	▲111.06		USD/CNH	6.6353	0.0050
上海総合	3,109.56	▲0.48		ドルインデックス	94.73	▲0.06
USDJPY 3M Vol	12.81	0.15%	商品市況	CRB指数	186.898	0.26
USDJPY 6M Vol	12.03	0.13%		NY金	1,348.800	▲8.10
EURJPY 3M Vol	11.73	0.13%		WTI	46.790	0.21
EURJPY 6M Vol	11.55	0.04%		Dubai Spot	45.98	0.31

東京	東京時間のドル円は100.17レベルでオープン。前日比マイスで寄り付いた日経平均株価がすぐにプラス圏まで上昇したことや仲値にかけての実需勢のドル買い期待等からドル円は100円台半ばまで上昇。浅川財務官が足元の為替市場について「激しい動きがあれば対応せざるを得ない」と発言したことも材料視された模様。その後は特段目立った材料ない中、方向感に乏しい推移が続いたが、午後に日経平均株価が上昇幅を拡大するとドル円は101円台まで連れ高となった。一時101.16まで上昇したが、101円台では相応の売り意欲も見られ、結局100.92レベルで海外へ渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン時間のドル円は軟調推移となった。100.92レベルでオープンすると、序盤から欧州株が下落する中でクロス円が上値重く推移。ドル円もクロス円に連れて緩やかに下落する展開となり、100.67レベルでNYへ渡った。ポンドドルは1.3049レベルでオープンすると、欧州株の軟調推移に連れて序盤から下落。英7月失業保険申請件数が▲8.6Kと市場予想(+9.0K)より良好な結果となり、英国のEU離脱決定直後の月の保険申請件数が低下した事が好感され一時的にポンドが買われ、ポンドドルは1.3060まで上昇。しかし、その後は伸び悩み1.3009レベルでNYへ渡った。(ロンドン17:00 日比野00531 444 179)
ニューヨーク	NY時間のドル円は100.67レベルでオープン。朝方は狭いレンジでの推移が続くが、株式市場が軟調にスタートしたこと等から円買戻しが優勢となり、100.17まで下落する。その後は午後のFOMC議事録発表を控え様子見ムードとなり、100.30辺りでの推移が暫く続いた。FOMC議事録では、2人のメンバーが7月会合での利上げを支持したことが明らかになったことでドル買いが加速し、ドル円は一時100.66まで上昇。しかし、他のメンバーはインフルに一段の自信が必要だと主張し、更なるデータを待つことで合意したことが明らかになると、ドル買いが後退した。前日のダドリー・NY連銀総裁発言から利上げへの期待も高まっていたが、議事録では特にヒントが示されなかったことから次第にドル売りが強まり、ドル円は一時100.04まで下落した。終盤、ドル円は動意を失い100.28レベルで海外市場へ渡った。一方、FOMC議事録発表を午後に控え調整からドルが買い戻される動きに、上値の重いユーロドルは1.1254まで下落し1.1272レベルでNYオープン。朝方は狭いレンジ内での推移が暫く続くが、軟調なダウの動きを受けたユーロ円の売りに、ユーロドルも1.1260まで下落する。午後は、FOMC議事録を受けて、一旦はドル買いが進み1.1240まで下落する局面も見られたものの、明確なヒントが得られなかったことからドル売りが優勢となり、ユーロドルは一時1.1316まで上昇した。その後は1.12台後半で小動きとなり1.1291レベルで海外市場へ渡った。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当:坂本・森谷

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
8月17日	10:30	豪 賃金指数(前期比/前年比)	2Q 0.5%/2.1%	0.5%/2.0%
	17:30	英 失業率	7月 2.2%	2.2%
	17:30	英 ILO失業率	6月 4.9%	4.9%
	17:30	英 失業保険申請件数	7月 -8.6K	9.0K
8月18日	2:00	米 ブラード・セントルイス連銀総裁 講演	-	-
	3:00	米 FOMC議事要旨(7月会合分)	-	-

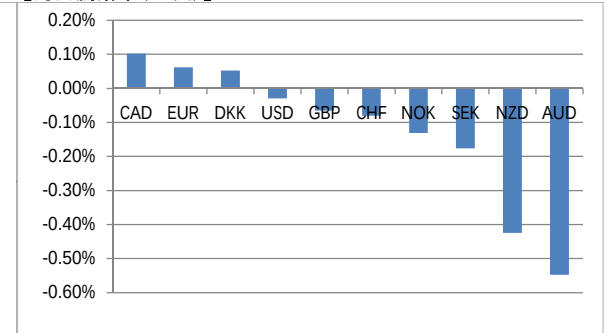
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前向
8月18日	8:50	日 対内・対外証券投資	-	-
	8:50	日 貿易収支	7月 ¥273.2B	¥693.1B
	10:30	日 雇用者数変化/失業率	7月 10.0K/5.8%	7.9K/5.8%
	17:00	欧 経常収支(季調前/季調後)	6月 -/-	15.4B/30.8B
	17:30	小売売上高(前月比/前年比)	7月 0.1%/4.2%	-0.9%/4.3%
	18:00	英 CPI(前月比/前年比)	7月 -0.5%/0.2%	0.2%/0.1%
	18:00	欧 コアCPI(前年比)	7月 0.9%	0.9%
	20:30	欧 ECB理事会議事要旨(7月会合分)	-	-
	21:30	米 新規失業保険申請件数	- 265K	266K
	23:00	米 ダドリー・NY連銀総裁講演	-	-
8月19日	5:00	米 ウィリアムズ・サンフランシスコ連銀総裁講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	99.00-100.50	1.1250-1.1400	112.50-113.50

【マーケットインプレッション】

昨日の海外時間のドル円相場は、100円台後半からじりじりと値を下げる展開。100円台前半まで下落したタイミングで発表された米7月FOMC議事要旨は、2人のメンバーが7月の利上げを支持していたことが明らかになり、100.66まで急反発。しかし、その直後に100.04まで下落。他のメンバーからは先行きの雇用ペース減速を背景に近い将来の利上げに反対するとの意見も出ていたことから利上げをめぐる不透明さが相場の不安定な値動きをもたらした印象。本日は軟調な展開を予想する。FOMC議事要旨からは利上げについてはメンバー間で考えに差異があるものの、今後の経済指標次第という点で一致していることに大きな変化はない。前日のダドリー・NY連銀総裁やロックハート・アトランタ連銀総裁から利上げに前向きな発言を受けてやや高まっていた利上げ期待が後退し、ドルの重石となるだろう。米10年債利回りも昨日海外時間に低下していることも相場の重石となるだろう。